

P

2011年5月7日(土)15:30~18:00 グローリアホール 2201

ポスター発表

在席責任時間

演題番号奇数 : 15 : 30~16 : 45

演題番号偶数 : 16 : 45~18 : 00

- P-01 乳児保育での保育のあり方がその後の保育に及ぼす影響に関する一考察
寶川雅子
(鎌倉女子大学短期大学部)
- P-02 乳幼児が積極的に操作する事物は何か(3) —積む操作に注目して—
加部清子¹・国分充²
(¹:東京都立立川ろう学校、²:東京学芸大学)
- P-03 電動移動機器トレーニングが発達に及ぼす影響—特別なニーズを持つ子どもたち—
高塩純一¹・安田寿彦²・小林晃²
(¹:びわこ学園医療福祉センター草津、²:滋賀県立大学工学部)
- P-04 Using a virtual reality-based therapy system to address multiple deficits in children with cerebral palsy simultaneously
Nagisa S. Kobashi、高塩純一
(びわこ学園医療福祉センター草津)
- P-05 乳幼児の行動的抑制傾向とエフォートフル・コントロールについての縦断研究
—24ヶ月齢から36ヶ月齢を対象として—
富貴田智子¹・水野里恵²・小島康生²・矢野円郁²・塚田みちる³・本城秀次⁴・野村香代⁵
(¹:中京大学大学院心理学研究科、²:中京大学心理学部、³:大阪国際大学短期大学部、
⁴:名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター、⁵:名古屋第二赤十字病院)
- P-06 前言語期乳児における同情的態度：成人との比較
鹿子木康弘^{1,2}・奥村優子^{1,2}・井上康之³・北崎充晃³・板倉昭二¹
(¹:京都大学文学研究科、²:日本学術振興会、³:豊橋技術科学大学)
- P-07 乳児におけるヒトとロボットからの学習—視線追従を用いて—
奥村優子^{1,2}・鹿子木康弘^{1,2}・神田崇行³・石黒浩^{3,4}・板倉昭二¹
(¹:京都大学、²:日本学術振興会、³:ATR知能ロボティクス研究所、⁴:大阪大学)
- P-08 乳幼児の発達過程が睡眠および夜間排尿に及ぼす影響
水野一枝¹・水野 康²・山城 由華吏³・須藤元喜³・上野加奈子³・
高野亜紀子⁴・仁木佳文³
(¹:東北福祉大学感性福祉研究所、²:東北福祉大学子ども科学部、³:花王株式会社、⁴:東北福祉大学総合福祉学部)
- P-09 運動感覚と幼児の描画発達
水野道子
(東海学園大学)

P-10 乳児における視覚と嗅覚の連合

稲田祐奈¹・和田有史²・楊嘉楽³・國枝里美⁴・増田知尋²・木村敦⁴・金沢創¹・
山口真美³

(¹: 日本女子大学、²: 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所、³: 中央大学、⁴: 高砂香料工業株式会社、⁵: 東京電機大学)

P-11 離乳開始前の乳児に食環境はどう影響するか?—第2報 満期産児と早産児の比較—

内海明美¹・野中由里^{2,3}・二藤宏美²・柴玲子²・岡ノ谷一夫^{2,3,4}・水野克己⁵・向井美恵¹ (¹: 昭和大学歯学部口腔衛生学教室、²: 理化学研究所脳科学総合研究センター、³: JST ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト、⁴: 東京大学大学院総合文化研究科、⁵: 昭和大学医学部小児科学教室)

P-12 読み聞かせが乳幼児の文字への興味に与える影響—視線検出器を用いた検討—

中井昭夫^{1,2}・乙部貴幸³・竹内恵子⁴・高谷理恵子⁵・森俊之⁶・谷出千代子⁷

(¹: 福井県立こども療育センター、²: 福井大学医学部病態制御医学講座小児科学領域、³: 仁愛女子短期大学幼児教育学科、⁴: 福井大学教育地域科学部、⁵: 福島大学人間発達文化学類、⁶: 仁愛大学人間学部、⁷: 仁愛大学人間生活学部)

P-13 音声¹⁰ヶ月児の絵本に対する注意に及ぼす影響

乙部貴幸¹・中井昭夫^{2,3}・竹内恵子⁴・高谷理恵子⁵・森俊之⁶・谷出千代子⁷

(¹: 仁愛女子短期大学幼児教育学科、²: 福井県こども療育センター、³: 福井大学医学部病態制御医学講座小児科学領域、⁴: 福井大学教育地域科学部、⁵: 福島大学人間発達文化学類、⁶: 仁愛大学人間学部、⁷: 仁愛大学人間生活学部)

P-14 乳児の母親・他者顔の認知における視覚と聴覚の役割—顔の部位に注目して—

森澤範子¹・白野陽子²・皆川泰代³

(¹: 日本女子大学人間社会学部・²: 慶應義塾大学文学部・³: 慶應義塾大学大学院社会学研究科)

P-15 乳幼児のカテゴリ化能力の発達と語彙発達

小椋たみ子・増田珠巳・平井純子・大宅洋行
(帝塚山大学)

P-16 視覚の精緻化が導く他者運動理解能力の発達モデル

河合祐司¹・長井志江¹・浅田稔^{1,2}

(¹: 大阪大学大学院工学研究科、²: JST ERATO 浅田共創知能システムプロジェクト)

P-17 18ヶ月児によるふり場面と本当场面での他者の目標理解

中道直子

(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科、日本学術振興会特別研究員)

- P-18 乳児における単語分節化と語意獲得：社会的相互作用が果たす役割
白野陽子¹・大森貴秀¹・山本淳一¹・皆川泰代²
(¹: 慶應義塾大学文学部, ²: 慶應義塾大学大学院社会学研究科)
- P-19 子どもの育ちを保障する保育士の保育観の形成—家庭的保育者のインタビュー調査から—
齊藤多江子¹・福川須美²・星順子³
(¹: 高崎健康福祉大学、²: 駒沢女子短期大学、³: 東洋英和女学院大学)
- P-20 泣き声に対する乳児の反応：発声応答と泣き行動
二藤宏美¹・柴玲子¹・野中由里^{1,2}・内海明美³・水野克己⁴・向井美恵³・岡ノ谷一夫^{1,2,5}
(¹: 理化学研究所脳科学総合研究センター 生物言語研究チーム、²: JST-ERATO岡ノ谷情動情報プロジェクト、³: 昭和大学歯学部口腔衛生学教室、⁴: 昭和大学医学部小児科学教室、⁵: 東京大学大学院総合文化研究科)
- P-21 乳児の泣き声の発達変化と状況依存性：養育者による意味評定
野中由里^{1,2}・岡ノ谷一夫^{1,2,3}
(¹: JST ERATO岡ノ谷情動情報プロジェクト、²: 理研BSI、³: 東京大学大学院総合文化研究科)
- P-22 女子大学生の乳児との関わり体験(1)
宮津寿美香¹・阿部淳子²・高井清子²
(¹: 日本女子大学人間生活学研究科、²: 日本女子大学家政学部)
- P-23 女子大学生の乳児との関わり体験(2)
阿部淳子¹・宮津寿美香²・高井清子¹
(¹: 日本女子大学家政学部、²: 日本女子大学人間生活学研究科)
- P-24 「ありがとう」の発話文脈とその発達に関する実証的検討
青木瑠衣¹・橋彌和秀²
(¹: 九州大学大学院人間環境学府、²: 九州大学大学院人間環境学研究院)
- P-25 幼稚園教諭や保育士という職業と気持ちの若さの関係
吉川祐子・長谷川武弘
(お茶の水女子大学)
- P-26 幼児期の計算能力に対する手指の巧緻性の予測力に関する縦断研究
浅川淳司^{1,2}・杉村伸一郎¹
(¹: 広島大学大学院教育学研究科、²: 学術振興会特別研究員)

- P-27 原始歩行シミュレーション—子宮内経験が導く歩行様運動のための神経回路—
森裕紀^{1,3}・國吉康夫^{1,2}
(¹: JST ERATO 浅田共創知能システムプロジェクト、²: 東京大学大学院、³: 現 大阪大学大学院)
- P-28 年上のきょうだいが、おもちゃ遊び場面における母子間の共同注意に与える影響
岸本健
(聖心女子大学文学部)
- P-29 共同・非共同注意エピソードにおける母親の働きかけ行動
大宅洋行・小椋たみ子・平井純子・増田珠巳
(帝塚山大学)
- P-30 課題の成功失敗場面における笑顔の日米比較
川上文人¹・往住彰文¹・Michael Lewis²
(¹: 東京工業大学、²: University of Medicine and Dentistry of New Jersey)
- P-31 母親の対乳児動作による母子コミュニケーションに関する一考察—
—動作によるコミュニケーションの可能性—
野呂衣美¹・中野茂²
(¹: 社会福祉法人横浜やまびこの里、²: 北海道医療大学心理科学部)
- P-32 音楽による動きの模倣が乳幼児の行動に与える影響—模倣場面と統制場面の実験的比較—
脇田和子¹・別府哲²
(¹: 中部学院大学子ども学部、²: 岐阜大学教育学部)
- P-33 チンパンジーとヒトにおける自己の随意運動の知覚：
視覚-運動随伴性の変化に対する視線行動と上肢運動の調節
兼子峰明^{1,2}・友永雅己¹
(¹: 京都大学霊長類研究所、²: 日本学術振興会)
- P-34 8-10ヶ月児による表情写真とイラスト画との対応検出
畑涼子¹・松浦由巳子¹・廣政祐和¹・曹丛蕾¹・橋彌和秀²
(¹: 九州大学教育学部・同大学院人間環境学府、²: 九州大学大学院人間環境学研究院)
- P-35 チンパンジーとヒトにおける大脳の発達過程：ヒトの脳の進化的基盤の理解にむけて
酒井朋子¹・松井三枝²・中務真人¹・友永雅己³・三上章允⁴・鈴木樹理³・濱田穰³・
田中正之⁵・宮部貴子³・巻島美幸¹・松沢哲郎³
(¹: 京都大学大学院理学研究科自然人類学研究室、²: 富山大学大学院医学薬学研究部、³: 京都大学霊長類研究所、⁴: 中部学院大学人間福祉学部、⁵: 京都大学野生動物研究センター)

- P-36 さっき何を選んだの？ チンパンジーは直前の自分の行動を記憶しているか。
友永雅己¹・兼子峰明^{1,2}
(¹: 京都大学霊長類研究所、²: 日本学術振興会)
- P-37 乳幼児にとって医師は常に怖い存在か？
渡部基信¹・加藤正晴²・小西行郎²
(¹: 学研都市病院小児科、²: 同志社大学赤ちゃん学研究センター)
- P-38 雑音下での音声聴取における視覚情報依存の発達の検討
久永聡子^{1,2}・麦谷綾子³・積山薫⁴・加藤正晴⁵
(¹: 熊本大学大学院、²: 日本学術振興会、³: NTTコミュニケーション科学基礎研究所、⁴: 熊本大学、⁵: 同志社大学)
- P-39 Web映像事例に基づく子どもの発達解説コンテンツの構築
桐山伸也¹・石川翔吾²・高林竜一³・北澤茂良¹・竹林洋一²
(¹: 静岡大学情報学部、²: 静岡大学創造科学技術大学院、³: 静岡大学大学院情報学研究科)
- P-40 6歳児における社会的相互作用を手がかりとする意図推論
石川勝彦
(九州大学大学院人間環境学府)
- P-41 類人猿3種とヒトにおけるギャップ効果
狩野文浩^{1,2}・平田聡³・友永雅己¹
(¹: 京都大学霊長類研究所、²: 日本学術振興会、³: 林原類人猿研究所)
- P-42 乳幼児の母音生成時の調音運動の逆推定
大橋浩輝・渡辺はま・多賀巖太郎
(東京大学大学院教育学研究科)
- P-43 ブックスタートが小学1年生のテレビ視聴等の習慣に及ぼす影響
森俊之¹・谷出千代子²・乙部貴幸³・竹内恵子⁴・高谷理恵子⁵・中井昭夫^{6,7}
(¹: 仁愛大学人間学部、²: 仁愛大学人間生活学部、³: 仁愛女子短期大学幼児教育学科、
⁴: 福井大学教育地域科学部、⁵: 福島大学人間発達文化学類、⁶: 福井県こども療育センター、
⁷: 福井大学医学部病態制御医学講座小児科学領域)
- P-44 母親のくすぐり方と乳児による意図の読み取り
石島このみ¹・根ヶ山光一²
(¹: 早稲田大学大学院人間科学研究科、²: 早稲田大学人間科学学術院)

P-45 小型ロボットハンドを用いた Starting Small 仮説の検証

熱田洋史¹・長井志江¹・浅田稔^{1,2}

(1: 大阪大学大学院工学研究科, 2: JST ERATO浅田共創知能システムプロジェクト)

P-46 新生児期における睡眠について—動睡眠期 (REM 期), 静睡眠期 (non-REM 期) —

高谷恒範¹・豆田清美¹・山中雅美¹・山本さよみ¹・今井竜子¹・波賀義正¹・岡本康幸¹・高橋幸博²・筏義人³(奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部¹、奈良県立医科大学附属病院周産期医療センター 新生児集中治療部門²、奈良県立医科大学附属病院 住居医学講座³)

P-47 幼児の歩数と歩容の関係について

上野加奈子¹・須藤元喜¹・山城由華吏¹・仁木佳文¹・高野亜紀子²・水野一枝³・水野康⁴

(1: 花王株式会社, 2: 東北福祉大学総合福祉学部, 3: 東北福祉大学感性福祉研究所, 4: 東北福祉大学子ども科学部)

P-48 乳児における自己の名前に対する脳反応: 近赤外分光法 (NIRS) と行動指標による検討

今福理博¹・太田真理子²・山本淳一¹・皆川泰代³

(1: 慶應義塾大学文学部, 2: 慶應義塾大学先端研究センター, 3: 慶應義塾大学大学院社会学研究科)

P-49 発達障害における早期行動介入

宍戸恵美子^{1,2}・井本敬二¹

(1: 自然科学研究機構生理学研究所, 2: 日本学術振興会特別研究員)

P-50 ブックスタートが小学1年生の読書習慣に及ぼす影響

谷出千代子¹・森俊之²・乙部貴幸³・竹内恵子⁴・高谷理恵子⁵・中井昭夫^{6,7}

(1: 仁愛大学人間生活学部, 2: 仁愛大学人間学部, 3: 仁愛女子短期大学幼児教育学科, 4: 福井大学教育地域科学部, 5: 福島大学人間発達文化学類, 6: 福井県こども療育センター, 7: 福井大学医学部病態制御医学講座小児科学領域)

P-51 これは私の体ですか? 空間表現の発達モデル

アレックス飛帝¹・國吉康夫^{1,2}

(1: JST Erato 浅田プロジェクト, 2: ISI 知能情報システム研究室, 東京大学)

P-52 チンパンジーにおける他者の行動に対する同調傾向

服部裕子・友永雅己

(京都大学霊長類研究所)

- P-53 **キャラクターの表情認知に関する発達的变化**
佐治量哉¹・安藤ハル²
(¹: 玉川大学脳科学研究所、²: (株)日立製作所中央研究所)
- P-54 **モーショニーズが乳児の模倣に与える影響**
福山寛志¹・明和政子^{1,2}
(¹: 京都大学大学院教育学研究科、²: 科学技術振興機構 (JST))
- P-55 **幼児期の社会的ふり遊びにみる規範性**
熊木悠人¹・明和政子^{1,2}
(¹: 京都大学大学院教育学研究科、²: 科学技術振興機構(JST))
- P-56 **発話「ワンワン」を説明する(2)—何が発達的に変化するのか—**
志村久
(PDD サポートセンターグリーンフォーレスト)
- P-57 **乳児における幾何学的錯視の知覚**
山崎悠加¹・金沢創¹・山口真美²
(¹: 日本女子大学、²: 中央大学)
- P-58 **親性発達と神経基盤の関係—青年期男女と育児中の父親・母親の比較—**
佐々木綾子¹・小坂浩隆²・波崎由美子¹・松木健一³・岡沢秀彦⁴
(¹: 福井大学医学部看護学科、²: 福井大学医学部医学科³: 福井大学教育地域科学部⁴: 福井大学高エネルギー医学研究センター)
- P-59 **ニホンザルにおける顔知覚様式の発達**
足立幾磨・友永雅己・松沢哲郎
(京都大学霊長類研究所)
- P-60 **子どもに酷似した外観を有する発達研究用ロボット Affetto の開発**
石原尚¹・吉川雄一郎²・浅田稔¹
(¹: 大阪大学大学院工学研究科、²: 大阪大学大学院基礎工学研究科)
- P-61 **他者の内部状態推定を考慮した誘導的共同注意の発達モデル**
中野吏¹・藤木新也¹・吉川雄一郎²・浅田稔¹
(¹: 大阪大学大学院工学研究科、²: 大阪大学大学院基礎工学研究科)